

1、園の教育目標

「健やかで 明るく 伸び伸びと」を教育目標とし、

- ・ 健康で明るい子どもに
- ・ よく考え、進んで物事をやりとげる子どもに
- ・ 心やさしく、思いやりのある子どもに
- ・ すなおで、のびのびした子どもに
- ・ きまりを守り、物を大切にする子どもに

子どもたちが集団生活を通してたくさんの体験ができる豊かな環境を作るよう取り組む。

2、本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した学校評価の具体的な目標や計画

評価項目に沿って自己点検、自己評価を実施することによって、教師自らが客観的に自園を見る目を養い、教育内容の改善に主体的に取り組んでいくことを重点項目とする。

3、昨年度の自己評価で見つかった取り組むべき課題

個別項目

- ・ 環境を通して教育及び保育を行うために、重視しなければならない事項について、説明できますか
- ・ あなたは、一日の生活の連続性やリズムの多様性に配慮して、保育を展開していますか
- ・ 家庭では十分に睡眠をとるなど、健康な生活リズムを身につけるよう、保護者との連携に努めていますか
- ・ 自らの判断で、園の内外における研修・研究活動に、積極的に参加していますか
- ・ あなたの保育実践について、同僚から意見を聞くように努めていますか

領域「環境」

- ・ 新しいものを見つけた際に、人前で話す機会を設けるなど、一緒に喜び合う場をつくっていますか

領域「表現」

- ・ 感動したことを伝え合う機会をつくり、豊かに表現できるよう援助していますか
- ・ 感じたことや考えたことなどを音や動きで表現できるよう保育の工夫をしていますか

4、評価項目の職員自己点検平均値（3段階評価【1・2・3】による）

第1章 総則		評価項目	平均
1. 教育及び保育の基本と目標	2	「教育要領」、「保育指針」、「教育・保育要領」を読んだことがありますか	2.6
	5	乳幼児期の教育及び保育は、子どもの最善の利益を考慮してすすめることを理解していますか	2.5
	8	子ども一人一人が、安心感と信頼感をもって色々な活動に取り組む体験を積み重ねられるよう、配慮していますか	2.6
2. 特に配慮すべき事項			
(1)教育及び保育の配慮	14	あなたは、0歳（入園）から小学校入学までの一貫した発達の連続性を考慮して、保育していますか	2.0
	17	登園時の、子どもの健康観察を行っていますか	2.9
	20	子ども一人一人に、分かりやすい温かな言葉で、おだやかに話しかけていますか	2.5
(2)健康支援	29	身長・体重などの定期的な計測や健康診断などの結果から、子どもの発育状況を把握して、日常の保育に生かしていますか	1.9
	32	感染症などの発生や疑いのある場合は、園医やかかりつけ医、市町村、保健所などと共に、全職員にも連絡すべきことを知っていますか	2.3
	35	子どもの与薬を要請された場合、園医やかかりつけ医の指示など、留意事項の確認をしていますか	2.6
(3)食育	50	子どもが栽培・収穫したものや調理したものを、食べるなどの機会をつくるよう心がけていますか	2.5
	53	食事の際、子ども同士が会話をするなど、楽しんで食べることができる雰囲気づくりに配慮していますか	2.7
第2章 子どもの発達			
	68	子どもの発達は、豊かな心情、意欲、態度を身につけ、新たな能力を獲得していく過程である事を理解していますか	2.6
	71	あなたは子どもと生活や遊びを共にするなかで、一人一人の心身の状態を把握していますか	2.2

	74	子どもが興味や関心を示し、主体的に関わる環境を用意していますか	2.1
第3章 「ねらい」及び「内容」			
1. 保育内容「健康」	83	保育者や友達と一緒に触れ合い安定感をもって遊べるように、時間や場所などを確保する配慮をしていますか	2.6
	86	子どもが自然に体を動かし伸び伸び遊ぶことができるように、遊具など環境を用意し工夫していますか	2.3
	89	子ども自らが工夫して、戸外でのいろいろな遊びを意欲的に楽しむことができる機会を、提供していますか	2.2
2.保育内容「人間関係」	104	保育者や友達と一緒に園生活を楽しみ、積極的に行動できるよう援助していますか	2.5
	107	自分でできた、という充実感を味わえるような活動を取り入れていますか	2.5
	110	自分の思ったことを相手に伝え、相手の思っていることにも気づくように、言葉がけをしたり、見守ったりしていますか	2.7
3. 保育内容「環境」	128	心の安らぎや、豊かな感情をもつような体験ができるように、子どもと自然との触れ合いを大切にしていますか	2.2
	131	自分のもの、他人のもの、共同のものの区別に気づけるような機会を、提供していますか	2.4
	134	園生活のなかで、自然や身近な事象に関心をもつことができるように、環境を工夫し保育していますか	2.1
4. 保育内容「言葉」	149	あなたは、子どもの発達や理解力、生活経験に合わせた言葉で保育していますか	2.3
	152	あなたは、子どもが話しているとき、最後までゆったりと聞くよう努めていますか	2.5
	155	保育者や友達の話をも、親しみをもって聞くことのできる雰囲気をつくっていますか	2.5
5. 保育内容「表現」	170	歌ったり、踊ったりして、表現の楽しさに気づくよう、援助していますか	2.5
	173	子どもが心を動かすような活動や場面などを提供し、表現活動を楽しむようにしていますか	2.2

	176	感じたことや考えたことを、自由にかいたり、つくったりできる機会をもうけていますか	2.1
第5章 指導計画作成に当たって配慮すべき事項			
	236	指導計画は、クラスや子ども、また家庭及び地域の実態を考慮して作成していますか	2.0
	239	指導計画に基づいて、環境を構成していますか	2.2
	242	日々の保育の連続性や季節の変化を考慮して、指導計画を作成していますか	2.3
第6章 研修と自己評価			
	263	子どもの発達保障や子どもの最善の利益を考慮した保育をすすめるために、園内外の研修に参加していますか	2.5
	266	あなたの保育実践の内容や意図を、同僚にわかりやすく説明することができますか	2.2
	269	研修に参加したり専門書を読むなどして、保育に関わる様々な知識を習得したり技能の向上に努めていますか	2.4
第7章 子育て支援			
	278	送迎の際に、保護者と言葉を交わしたり、連絡帳で情報を交換したりするようにしていますか	2.3
	281	保護者の考えや提案を積極的に聞き、適切と思うものについては保育に取り込むように努めていますか	2.2
	284	あなたは自分の保育の意図を、わかりやすく保護者に説明することができますか	2.1

## 5、自己評価の評価結果

結果	内容
2. 3	職員が、一つひとつの幼児の活動に、幼稚園指導要領に示された5領域のねらいを確認し、 <b>特に平均値の低い項目、領域について、今年度の月案等に反映させて、保護者との連携のもと幼児との信頼関係を築き、よりよき幼児教育の充実向上を図る。</b>

## 6、今後取り組むべき課題

### 平均値の低い項目

- ・ あなたは、0歳（入園）から小学校入学までの一貫した発達の連続性を考慮して、保育していますか
- ・ 身長・体重などの定期的な計測や健康診断などの結果から、子どもの発育状況を把握して、日常の保育に活かしていますか
- ・ 指導計画は、クラスや子ども、また家庭及び地域の実態を考慮して作成していますか

### 平均値の低い領域

#### 「環境」

- ・ 心の安らぎや、豊かな感情をもつような体験ができるように、子どもと自然との触れ合いを大切にしていますか
- ・ 自分のもの、他人のもの、共同のものの区別に気づけるような機会を、提供していますか
- ・ 園生活のなかで、自然や身近な事象に関心をもつことができるように、環境を工夫し保育し保育していますか

## 7、学校関係者評価委員会の意見

遠足等園行事を園児が楽しみにしている点を評価していただいた。

様々な経験のなかで、多くの失敗を体験する機会を作るよう要望があった。

## 8、具体的な園の取り組み

引き続き自由保育への取り組みを続ける。

研修報告を、次年度の研修計画に生かす。